2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
形態系分野	画像診断・応用診療学研究	加藤 勝也

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1～4	必須専攻	20	

目的

現代医療において欠くことが出来ない放射線医学についての十分な知識と専門技能の習得と臨床研究実施能力の養成を目的として，放射線診断におけるモダリティーの選択，画像読影の基礎を学習し，得られた画像を的確に読影し，鑑別診断を適切に進め，さらに治療適応についての判断ができ，それらを基に研究計画を立案し実施することができる。

授業到達目標

（1）各種画像診断装置の原理，適応を理解し，説明できる。
（2）各種画像所見を的確に読影し，正確に記載した画像診断レポートを記載することができる。
（3）IVR における各手技を理解し，適切に適応の有無を判断し，手技を施行することができる。

授業計画

月日	曜日	時間	担当者	授業内容
毎週	月	16:00 - 18:00	加藤 勝也	胸部を中心とした画像診断を行い，指導の下で胸部画像を用いた研究計画を立案する。
毎週	火	10:00 - 12:00	加藤 勝也	腹部を中心とした画像診断を行い，指導の下で研究計画の立案について学ぶ。
毎週	水	13:00 - 16:00	藤原 寛康	各種 IVR 手技に関連した研究計画の立案を学ぶ。
毎週	木	14:00 - 16:00	小野 由美香	マンモグラフィーについての診断を通しての画像解析と研究計画立案を学ぶ。
毎週	金	14:00 - 16:00	坪井 有加 福原 由子	肝胆膵についての診断を通しての画像解析と研究計画立案を学ぶ。

評価方法

（1）１・２年次に中間発表へ出席する。
（2）２年次に中間発表で発表する。
（3）APRIN e-ラーニングプログラム（eAPRIN）の必須単元を受講する。[受講期間：１年次に受講。]
（4）１週間ごとに実験内容を履修手帳にまとめ，科目責任者の認定印をもらい，学期ごとに提出する。

課題（レポート等）に対するフィードバック

４週間ごとの実験内容報告に対し，指導・助言を行う。

教科書

ISBN-9781496360694, Radiology review manual（8thEdition）, Wolfgang Dähnert, Wolters Kluwer／Lippincott Williams and Wilkins, 2017
ISBN-9781496302076, Handbook of Interventional Radiologic Procedures（5th Edition）, Krishna Kandarpa・Lindsay Machan・Janette Durham, Lippincott Williams & Wilkins, 2016

参考書

ISBN-9784780909722, よくわかる脳 MRI（第４版）, 青木茂樹 [ほか] 編・著, 学研プラス／学研メディカル秀潤社, 2020
ISBN-9784815701185, 胸部の CT（第４版）, 村田喜代史, 上甲剛, 村山貞之, 酒井文和　編集, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2018
ISBN-9784780904369, 肝胆膵の画像診断 ：CT・MRI を中心に（第２版）, 山下康行, 伊東克能, 藤永康成　編・著, 学研メディカル秀潤社, 2022
ISBN-9784260011259, IVR マニュアル（第２版）, 栗林幸夫・中村健治・廣田省三・吉岡哲也　編集, 医学書院, 2011

準備学習（予習・復習等）

（1）画像診断に関しては約 600 例のティーチングファイルを自学習として閲覧し，関連論文を読んでおくこと。
（2）IVR に関しては自身が施行する手技に関する最新の論文を手技前に読み，その内容について理解しておくこと。
（3）復習については学習時に指示した文献などにて当日中に再確認を行うことが望ましい。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

（1）課題を探求し，仮説立脚，検証に至るまでの科学的方法論，思考法を習得する。
（2）医学・医療分野を牽引し，指導的役割を果たすことができる。

注意事項・メッセージ

大学院生として，放射線科医学の勉強・実験に熱心に取り組んでください。
将来，臨床応用可能となるような研究課題の立案，実施が望まれます。